



報道関係各位

※小泉今日子、柄本明、瀬々敬久、三宅唱ら映画人からのコメントあり

2024年1月18日

株式会社MotionGallery

【コロナ禍のダメージや「デジタル映写システム（DCP）」の買い替え問題等による”経営の厳しさ”が目立つ中、”各地域での重要性”について見直されるミニシアター】

2つの映画館がクラウドファンディング挑戦中！残り2週間！

・「名古屋シネマテーク」の跡地で「ナゴヤキネマ・ノイ」新設。

ストレッチゴール、2,200万円まであと一歩（現在2,169万円）

・閉館待ったなしの横浜のミニシアター「シネマ・ジャック&ベティ」（現在3,941万円）

国内最大級のクラウドファンディング・プラットフォームを運営する株式会社MotionGallery(本社:東京都中央区代表取締役:大高健志)は、映画館「名古屋シネマテーク」「シネマ・ジャック&ベティ（横浜）」のクラウドファンディングを1月31日（水）まで実施中です。

ナゴヤキネマ・ノイ：<https://motion-gallery.net/projects/nagoyakinema-neu>

シネマ・ジャック&ベティ：<https://motion-gallery.net/projects/HelpJandB>

コロナ禍に弊社代表・大高健志らが発起人を務めた「ミニシアター・エイド基金」では、3億3千万円を越える支援金を集め、希望する劇場運営者に応急処置としての約300万円ずつ配布しましたが、アフターコロナの現在も客足が戻らないミニシアターが多い状況が続いています。現在、特例で猶予されていた社会保険料や税金の支払いに加え、「デジタル・シネマ・パッケージ（DCP）」と呼ばれる上映方式に必要なデジタル映写機の買い替えや老朽化等による多額の設備投資が経営難に繋がり、多くのミニシアターが経済的な理由から運営の停止や見直しを迫られています。



このような背景の中、41年を越えて愛され、2023年7月閉館した名古屋シネマテークの跡地で、元スタッフが新しいミニシアター「ナゴヤキネマ・ノイ」を新設するためのプロジェクトを実施しています。すでに目標1,000万円を達成しましたが（用途：改装工事や機材整備費等）、ストレッチゴールとして2,200万円を設定し（用途：「ノンシアトリカル作品※」の特集上映実施費）残すところあと2週間です。また、前身の名画座時代を含め、71年間続く横浜のミニシアター「シネマ・ジャック&ベティ」は、閉館待ったなしの状況で、存続をかけたプロジェクトを実施中です。目標3,000万円を大きく超え（用途：デジタル映写機の入替費、劇場設備修繕費等）、4,000万円に迫る応援が続々と集まっています。

配信により映画作品に接する機会も増えつつありますが、映画館は作品に集中して鑑賞する特別な時間を過ごす場として存在しています。広く社会のもの、という原点に新しく立ち、持続可能な映画館を目指す当プロジェクトをぜひ、応援ください。

※社会・政治による多様な情勢の変化をリアルに伝えると同時に、映画芸術の要素を持つ作品群

「新しいミニシアター、「ナゴヤキネマ・ノイ」スタートに向けて！」概要

2023年7月に閉館した名古屋シネマテークの跡地で、新しいミニシアター「ナゴヤキネマ・ノイ」を新設します。改装工事や機材整備など、充実した設備のためのクラウドファンディングを実施しています。

<https://motion-gallery.net/projects/nagoyakinema-neu>

期間：1月31日23:59まで

目標：1,000万円（換気システム改装、内装などの改装、座席の改修、映写音響整備費、オンライン予約システム、デジタルプロジェクター）→現在：ストレッチゴール 2,200万円（「ノンシアトリカル作品」の特集上映権利料）

リターン：5,000円～50万円（劇場公式サイトにお名前掲載、オリジナルグッズ、オープン直前一般内覧会ご招待、フリーパス招待券等）

▼プロジェクト実行者よりメッセージ

未来の映画のために～今回のクラウドファンディングは、新しいミニシアター「ナゴヤキネマ・ノイ」がスタートを切るためであるとともに、3年後、5年後の未来に映画をお届けできるようなものとして考えています。広くご支援を、よろしくお願いたします。

永吉直之・仁藤由美（元名古屋シネマテークスタッフ、ナゴヤキネマ・ノイ代表）

「この場所で映画館を続けたい！閉館待たなしの横浜のミニシアター〈シネマ・ジャック&ベティ〉概要

苦境に立っている横浜のミニシアター〈シネマ・ジャック&ベティ〉より心からのお願いです。前身の名画座時代を含めて、この地で71年間続く映画館の歴史を途切れさせないために、どうか皆様のご支援をお願いします。

<https://motion-gallery.net/projects/HelpjandB>

期間：1月31日23:59まで

目標：3,000万円（エスカレーター等の修繕費、デジタル映写機の入替費用、コロナ時期の税金、社会保険料等の未払金、コロナ時期の光熱費、賃料、リース料等の未払金、経営改善に向けた人材費、今後数年内の想定される劇場設備修繕費）

リターン：5,000円～500万円（限定動画によるお礼メール、鑑賞券、林海象監督デザイングッズ、ながしまみきデザイングッズ、お名前スクリーン上映、劇場2時間貸切プラン、幕間スクリーンでCM上映等）

▼プロジェクト実行者よりメッセージ

どうしても、ジャック&ベティを残したい。ご支援をお願いします

目標金額としては大変に大きな額ですが、劇場にとっては現実的な数字として挙げさせていただきました。親会社のないミニシアターが、ミニシアターだけで採算を取ることは不可能な時代になったといえ、そうかもしれません。でも今は横浜のこの場所に、71年間、映画館が残っています。私たちの未熟さにより、たびたびご支援をお願いすることになり、恐縮です。それでも2007年以降、人生をかけて劇場の存続に取り組んできたことは、偽りない気持ちです。どうしても、この場所で、ジャック&ベティを続けたい、残したいと願っています。我々に映画館の仕事を続けさせて下さい。どうか皆様のご支援をお願いします。

梶原俊幸（シネマ・ジャック&ベティ 支配人）



MOTION GALLERY
クラウドファンディング・プラットフォーム

MOTION GALLERYは、みんなの共感をパワーに、社会に新しい体験・価値観をもたらす創造的なプロジェクトを実現するクラウドファンディング・プラットフォームです。

<https://motion-gallery.net/>

一般のお問合せ：contact@motion-gallery.net

報道関係者の問合せ：株式会社MotionGallery PR 村上 Tel：090-5074-2320 Email：harukamurakami@mgly.jp

(ご参考)

映画関係者より応援コメント (ナゴヤキネマ・ノイに向けて)

瀬々敬久 (映画監督) コメント

30年も前、ピンク映画の時代から名古屋シネマテークにはお世話になった。今池のあの独特の映画館に行くのが楽しみでならなかった。それが、支配人だった平野さんが亡くなり、いつの間にか時代も変わり、大好きだったあの映画館も閉館となった。それが同じ場所で、名称も新たに映画館が立つという。引き継ぐこともあるだろう、もちろん変わることも大きいだろう。だけど、とにもかくにも出発だ。応援せずにはられないのです！

三宅唱 (映画監督) コメント

うわー!!!! 嬉しいときはこんなふうには鳥肌が立つんですね！ 嬉しい嬉しいと100回くらい書きたい気持ちです。再会、もとい「新しい出会い」を、このクラウドファンディングを通して多くの方と楽しみに待てる、そう考えると、いくらこんな時代とはいえ、なんだかガッツも湧いて出てきます。

柄本明 (俳優・演出家) コメント

映画を愛する者として、名古屋シネマテークの閉館は、大変残念に思っていました。

ぜひ、再開して欲しいと思います。

心から応援しています。

小泉今日子 (歌手、俳優など) コメント

1989年、わたしは23才だった。

忙しい日々の中、自分の時間を見つけるのが困難で息の仕方もわからなくなるような状態だった。

そんなある日、珍しく仕事がなにもないお休みの朝がやってきた。

いつもはお昼過ぎまで寝てしまうのに午前中にパッチリと目覚めた。

「こんなに気持ちよく目覚められるなんて神様が私に言いたいことがあるのかもしれない」なんて思った。

自分の心に意識を集中してみたら、ひとりで街をブラブラしたい！映画なんかも観たりして！そんな気分になった。

渋谷までそう遠くない場所に住んでたので「シネマライズ」というミニシアターまで歩いて行ってみた。

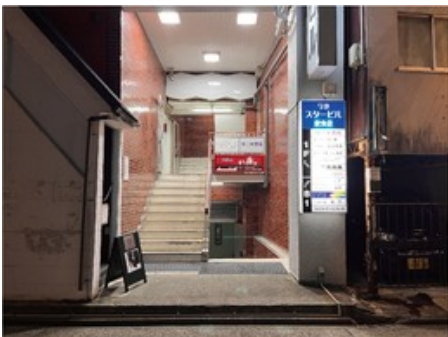
「バグダッド・カフェ」という映画が上演中だった。生まれて初めて一人で映画を観た。

脚本も、映像も、お芝居も、音楽も素晴らしくて夢中になって観た。

映画館を出て思い切り深呼吸をしてみたら、空や、建物や、街路樹や、目に映る全ての色が変わったように思えた。

そんなことを思い出しました。ミニシアターは重要です！

※コメントを寄せている皆さん、呼びかけ人の皆さんが多数いらっしゃいます。プロジェクトページ (<https://motion-gallery.net/projects/nagoyakinema-neu>) をご覧ください。



左・右 シネマテーク入居ビル

中央 永吉直之・仁藤由美 (元名古屋シネマテークスタッフ、ナゴヤキネマ・ノイ代表)